

平成25年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月1日

上場会社名 イーサポートリンク株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 2493 URL http://www.e-supportlink.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 信介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 仲村 淳 TEL 03-5979-0784  
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (補足資料は四半期決算説明会開催後ホームページに掲載予定です)  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第2四半期の連結業績（平成24年12月1日～平成25年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第2四半期	2,107	△0.1	320	14.8	319	18.1	157	△37.5
24年11月期第2四半期	2,109	3.0	278	34.5	270	35.1	252	43.7

(注) 包括利益 25年11月期第2四半期 158百万円 (△37.6%) 24年11月期第2四半期 253百万円 (44.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第2四半期	35.62	—
24年11月期第2四半期	56.96	—

(注) 当社は、平成25年6月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第2四半期	4,870	2,621	53.8
24年11月期	4,334	2,463	56.8

(参考) 自己資本 25年11月期第2四半期 2,621百万円 24年11月期 2,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年6月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。なお、平成25年11月期の第2四半期末以前の配当金については、当該株式分割が行われる前の金額を記載しております。

3. 平成25年11月期の連結業績予想（平成24年12月1日～平成25年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,306	0.4	536	9.4	529	11.5	330	△24.8	74.66

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成25年6月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、平成25年11月期の業績予想における1株当たり当期純利益は、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細については、四半期決算短信（添付資料）4 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細については、四半期決算短信（添付資料）4 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年11月期2Q	4,424,800株	24年11月期	4,424,800株
② 期末自己株式数	25年11月期2Q	－株	24年11月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年11月期2Q	4,424,800株	24年11月期2Q	4,424,800株

(注) 当社は、平成25年6月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和による円安及び株高の進行により景気回復が期待される中、企業収益に改善の兆しがみられる一方で、雇用情勢に厳しさが残るなど、依然として不透明な状況で推移しております。

生鮮青果物流通業界におきましては、バナナの輸入量は前年を下回る水準で推移し、小売業の店舗調整後の食料品販売額は前年を下回る水準で推移いたしました。またIT関連投資に関する国内売上高は概ね前年を上回る水準で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、「全ては生産者と生活者のために」を経営理念に掲げ、「食の流通情報を活用し、生産者の暮らしを支え、生活者の食生活に貢献する」企業グループを目指しております。この実現に向けて、事業基盤の強化に向けた業務受託における生産性の向上や総合的なサービスレベルの向上等に継続して取り組むとともに、当社が強みを持つサービスの拡販営業活動を推進し、新規顧客獲得に努めてまいりました。

こうした中、生鮮MDシステム通過高の増加等により、前年同期と比較して営業利益及び経常利益は増益となったものの、四半期純利益は税金費用の増加により前年同期と比較して減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は21億7百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は3億20百万円（同14.8%増）、経常利益は3億19百万円（同18.1%増）、四半期純利益は1億57百万円（同37.5%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (システム事業)

システム事業におきましては、主として流通における情報システムの提供を行っております。提供サービスに関わるソフトウェア、ハードウェアなどの保守・機能拡張を実施し、サービスレベル向上や災害対応力強化に努めております。

輸入青果物サプライチェーン向けに提供するイーサポートリンクシステムにおきましては、現行システムの安定運用を継続するとともに、近年の多様化する顧客ニーズへの一層の対応を目指し、再構築版のリリースに向け開発を進めてまいりました。大手量販店及び取引先向けに提供する生鮮MDシステムにおきましては、利用取引先数、データ件数を増加させてまいりました。

以上の結果、売上高は11億26百万円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益は4億15百万円（同23.6%増）となりました。

#### (業務受託事業)

業務受託事業におきましては、主としてサプライチェーンにおける流通オペレーション機能を提供し、生産性向上による更なる流通合理化に努めております。バナナの輸入量減少等の理由による業務受託の処理量が減少する中、サプライチェーンの流通合理化を実現するため、オペレーション効率化、人員配置適正化、災害対応力強化などを進めてまいりました。

以上の結果、売上高は9億44百万円（前年同期比3.6%減）、セグメント利益は3億32百万円（同6.5%減）となりました。

#### (農産物販売事業)

農産物販売事業におきましては、生産者との連携強化及び販路の拡大、収益力の改善に努めてまいりましたが、収支均衡には至りませんでした。

以上の結果、売上高は36百万円（前年同期比56.3%減）、セグメント損失は21百万円（前年同期はセグメント損失28百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末と比べて5億35百万円増加し、48億70百万円（前連結会計年度末比12.4%増）となりました。

内訳としては、流動資産が30億36百万円（同7.9%増）、固定資産が18億30百万円（同20.7%増）、繰延資産が3百万円（同27.7%減）となりました。

流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が1億72百万円増加したことによるものです。

固定資産の主な増加要因は、有形固定資産のリース資産が2億2百万円、ソフトウェア仮勘定が1億93百万円増加した一方、ソフトウェアが70百万円減少したことによるものです。

#### ② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末と比べて3億77百万円増加し、22億49百

万円（同20.2%増）となりました。

内訳としては、流動負債が13億62百万円（同26.5%増）、固定負債が8億86百万円（同11.6%増）となりました。

流動負債の主な増加要因は、未払法人税等が1億55百万円、預り金が1億28百万円増加したことによるものです。

固定負債の主な増加要因は、リース債務が1億70百万円増加した一方、社債が40百万円、長期借入金が56百万円減少したことによるものです。

### ③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べて1億58百万円増加し、26億21百万円（同6.4%増）となりました。

この結果、自己資本比率は53.8%となりました。

その主な増加要因は、四半期純利益を1億57百万円計上したことによるものです。

### ④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期連結会計期間末に比して2億90百万円増加し、23億42百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は4億9百万円（前年同期は3億22百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益を3億19百万円、減価償却費を1億26百万円計上したこと、たな卸資産が36百万円増加したこと等によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億5百万円（前年同期は2億34百万円の支出）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出2億1百万円等によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は30百万円（前年同期は32百万円の収入）となりました。これは主に短期借入金の純増額50百万円、社債の償還による支出40百万円等によるものであります。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の差異を踏まえ、通期業績予想を以下の通り修正いたします。

### ① 連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,387	448	428	389	88.00
今回修正予想（B）	4,306	536	529	330	74.66
増減額（B－A）	△80	87	100	△58	－
増減率（％）	△1.8	19.6	23.5	△15.2	－
（ご参考）前期実績 （平成24年11月期）	4,289	490	474	439	99.27

②個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,241	464	415	384	86.94
今回修正予想 (B)	4,199	565	457	274	61.97
増減額 (B - A)	△42	100	42	△110	—
増減率 (%)	△1.0	21.7	10.1	△28.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年11月期)	4,193	538	476	449	101.56

(注) 当社は、平成25年6月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

※平成25年1月11日に公表いたしました平成25年11月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「平成25年11月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

耐用年数の変更

当社が保有するソフトウェアは、従来、耐用年数を5年として減価償却を行ってききましたが、イーサポートリンクシステムの再構築により、既存のイーサポートリンクシステムについては、当第2四半期連結会計期間において、利用期間を見直し耐用年数を変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の減価償却費は32,584千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は同額減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,069,875	2,242,825
売掛金	391,341	404,536
有価証券	99,971	99,972
商品及び製品	278	131
仕掛品	10,991	47,878
原材料及び貯蔵品	5,514	4,937
その他	235,532	236,654
貸倒引当金	△570	△648
流動資産合計	2,812,934	3,036,288
固定資産		
有形固定資産	274,989	475,191
無形固定資産		
ソフトウェア	176,568	106,227
ソフトウェア仮勘定	690,222	883,424
その他	25,255	20,565
無形固定資産合計	892,045	1,010,216
投資その他の資産		
その他	415,780	410,830
貸倒引当金	△65,529	△65,293
投資その他の資産合計	350,251	345,536
固定資産合計	1,517,286	1,830,944
繰延資産	4,240	3,067
資産合計	4,334,461	4,870,300
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,121	1,980
短期借入金	310,000	360,000
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	73,600	113,600
未払法人税等	15,255	171,236
その他	596,344	635,965
流動負債合計	1,077,321	1,362,783
固定負債		
社債	130,000	90,000
長期借入金	287,200	230,400
退職給付引当金	268,180	286,976
資産除去債務	38,892	39,148
その他	69,781	239,749
固定負債合計	794,054	886,274
負債合計	1,871,376	2,249,057

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,721,514	2,721,514
資本剰余金	620,675	620,675
利益剰余金	△880,112	△722,488
株主資本合計	2,462,077	2,619,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,007	1,541
その他の包括利益累計額合計	1,007	1,541
純資産合計	2,463,084	2,621,242
負債純資産合計	4,334,461	4,870,300



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
売上高	2,109,692	2,107,836
売上原価	1,266,606	1,188,473
売上総利益	843,086	919,363
販売費及び一般管理費	564,207	599,342
営業利益	278,878	320,020
営業外収益		
受取利息	220	328
受取配当金	—	496
業務受託料	3,308	3,300
投資事業組合運用益	—	5,325
その他	1,210	2,563
営業外収益合計	4,739	12,013
営業外費用		
支払利息	7,198	9,550
その他	5,787	2,804
営業外費用合計	12,986	12,354
経常利益	270,631	319,679
特別利益		
固定資産売却益	—	532
投資有価証券売却益	283	—
特別利益合計	283	532
特別損失		
投資有価証券評価損	427	—
リース解約損	287	573
その他	53	—
特別損失合計	768	573
税金等調整前四半期純利益	270,147	319,637
法人税等	18,105	162,014
少数株主損益調整前四半期純利益	252,042	157,623
四半期純利益	252,042	157,623

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	252,042	157,623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,414	534
その他の包括利益合計	1,414	534
四半期包括利益	253,457	158,157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	253,457	158,157

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	270,147	319,637
減価償却費	117,443	126,469
投資有価証券評価損益 (△は益)	427	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16,630	18,796
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,063	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	990	△157
受取利息及び受取配当金	△220	△824
支払利息	7,198	9,550
投資有価証券売却損益 (△は益)	△283	—
繰延資産償却額	1,244	1,172
有形固定資産除却損	53	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△532
売上債権の増減額 (△は増加)	12,299	24,525
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6,978	△36,163
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,657	△26,037
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△26,775	△2,350
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△3,524	228
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△56,602	△2,490
その他	△19,861	△8,599
小計	336,867	423,225
利息及び配当金の受取額	220	824
利息の支払額	△7,543	△9,353
法人税等の支払額	△6,860	△5,429
営業活動によるキャッシュ・フロー	322,684	409,267
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△11,042	△14,419
無形固定資産の取得による支出	△217,098	△201,983
敷金及び保証金の回収による収入	441	203
敷金及び保証金の差入による支出	△9,672	△305
有形固定資産の売却による収入	—	690
投資有価証券の売却による収入	284	—
その他	2,496	10,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△234,591	△205,714
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	14,800	50,000
長期借入れによる収入	90,000	—
長期借入金の返済による支出	△27,600	△16,800
社債の償還による支出	△30,000	△40,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△15,123	△23,802
財務活動によるキャッシュ・フロー	32,076	△30,602
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	120,169	172,951
現金及び現金同等物の期首残高	1,932,060	2,169,846
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,052,229	2,342,797

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム 事業	業務受託 事業	農産物販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,046,753	980,064	82,875	2,109,692	—	2,109,692
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,103	3,117	3,470	9,691	△9,691	—
計	1,049,857	983,181	86,345	2,119,383	△9,691	2,109,692
セグメント利益又は 損失(△)	336,114	355,376	△28,795	662,695	△383,816	278,878

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△383,816千円には、セグメント間取引消去6,429千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△390,245千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム 事業	業務受託 事業	農産物販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,126,937	944,640	36,257	2,107,836	—	2,107,836
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,574	3,833	4,932	11,340	△11,340	—
計	1,129,512	948,474	41,189	2,119,176	△11,340	2,107,836
セグメント利益又は 損失(△)	415,552	332,207	△21,715	726,044	△406,023	320,020

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△406,023千円には、セグメント間取引消去6,479千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△412,503千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(耐用年数の変更)

「会計上の見積りの変更」に記載のとおり、既存のイーサポートリンクシステムについては、当第2四半期連結会計期間において、利用期間を見直し耐用年数を変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、「システム事業」において31,346千円、「業務受託事業」において1,238千円それぞれ減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

(株式の分割及び単元株制度の採用)

平成19年11月に全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を踏まえ、証券市場の流動性及び利便性の向上を図るため、当社は、平成25年1月11日開催の取締役会において、株式分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年6月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株としております。

なお、当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間における1株当たり四半期純利益金額は次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	56円96銭	35円62銭

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。